

2023 – 24 年度ガバナー挨拶

2023-24 年度ガバナー 高丹 秀篤 (深谷 RC)



2024-25 年度 D2570 地区ラーニング協議会の開催を祝って

本日の地区協議会をもって、実質的に五十幡年度入りとなります。RI 会長ゴードン・マッキナリーさんから、スティファニー・アーチックさんに。また前年度は、ジェニファー・ジョーンズさんが最初の女性 RI 会長となりました。この三人の RI 会長は、「継続と変革」を訴えました。ロータリーは単年度制の運営が RI からクラブまで毎年継承されています。もちろん、単年度制の良さは大きくありますが、同じように弱点もあります。「継続と変革」はその弱点を補完するのに必要なことです。これらの三人の国際ロータリーのリーダー達は、何を継続しようとしているのか、そして何を改革していこうとしているのかを学ぶ機会がこの地区協という場でもあります。更には RI 会長の考えに基づいて、地区リーダーはどう行動することを求めているのかを学ぶ場が今日なのだと思います。

国際ロータリーは変わろうとしています。地区も変わっていかないと組織活性化には結びつきません。クラブがロータリー組織の土台ですから、クラブが活性化して元気になれば、地区も国際ロータリーも Grow していくことはないと思います。私たち 2570 地区の高丹年度は、前年度の非連続的運営体制の副作用をいち早く取り除くべく、「甦れ！ 2570 プロジェクト」を展開しました。皆様のご理解とご協力があつて、新たな前を向いての五十幡年度に繋がられたと思います。これから次年度・次次年度と [3 year rolling plan] の考え方がクラブにも求められています。「親睦と奉仕」のロータリークラブの基本に、*より大きなインパクトをもたらす* 参加者の基盤を広げる *参加者の積極的なかわりを促す* 適応力をたかめる を優先事項として、ロータリークラブを大きく成長させよう！のために、やはり仲間を増やすことを最優先に、目標を設定して継続的に、持続的に対応して行くことが求められています。

五十幡ガバナーエレクトのテーマ「入ってよかった、ロータリー」と思えるような活動をそれぞれのクラブが計画的に導入していきましょう。各クラブの良さや他のクラブとの違いを出していくのもいいかもしれません。地区委員会はそれらのクラブを支援するためにあります。五十幡年度の船出とクラブリーダーの皆さんの新年度が楽しい時間になりますように祈念いたします。 We are ROTARY together!